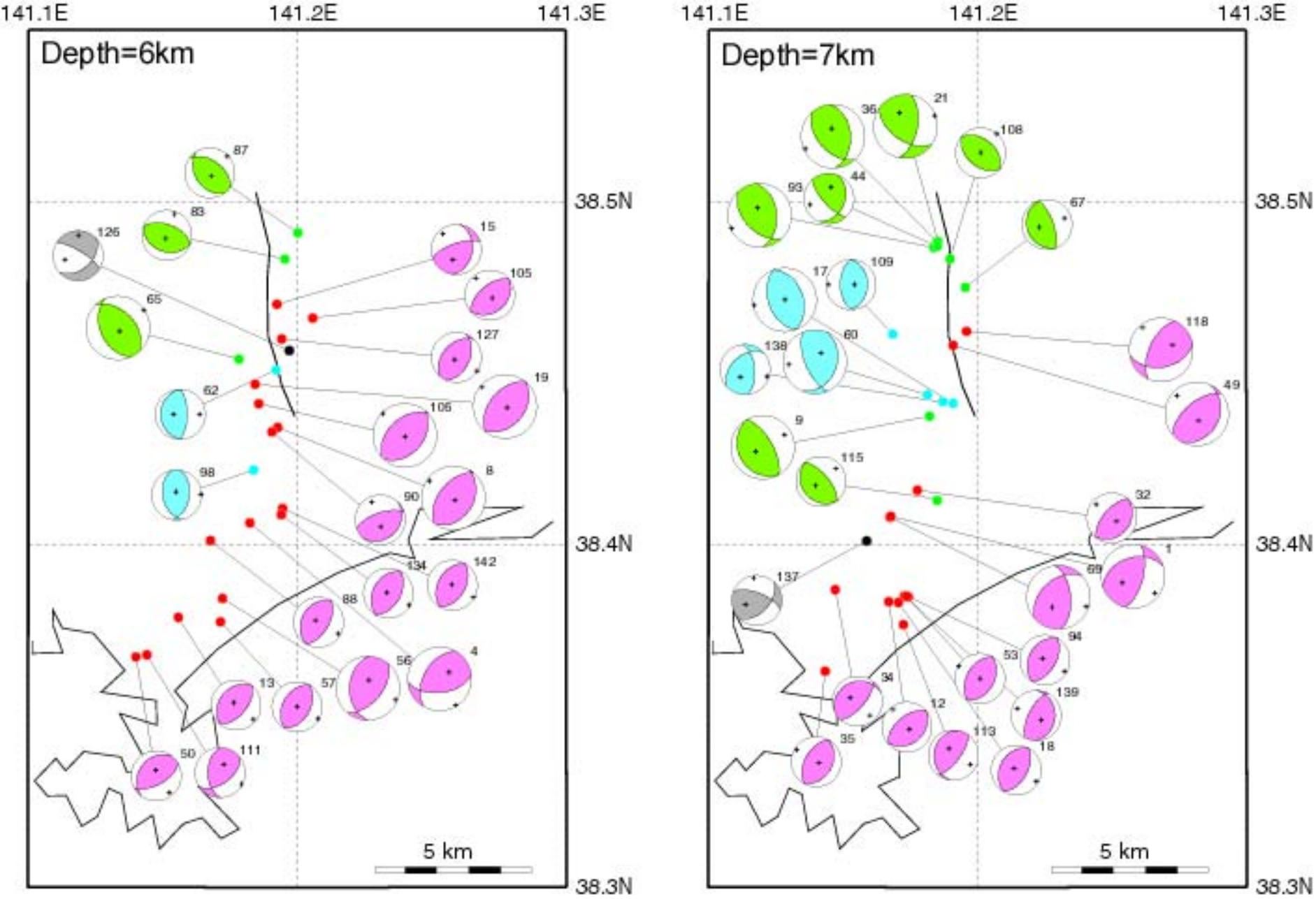

Fig. 4 (cont.)

併合データによる余震のメカニズム解．2003年７月26日17時46分～８月３日12時37分に発生した余震をＤＤ法で再決定した．Ｐ波初動の押し引き分布から決定したメカニズム解を下半球等積投影法で示す．数字は地震番号である．